

2024年3月28日

株式会社博報堂DYホールディングス

AI技術の活用推進の一環として、  
マルチモーダルLLMを活用した広告クリエイティブのAI分析機能を、  
AIクリエイティブワークフローシステム「Creative Table PINGPONG」に搭載  
～AI活用により、客観的な定性評価によるスピーディーな分析が実現～

株式会社博報堂DYホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：水島正幸、以下博報堂DYホールディングス）のグループ横断型の研究開発組織「Creative technology lab beat」（クリエイティブ・テクノロジー・ラボ・ビート 以下 beat）は、2022年1月の発足以降、積極的な活動を継続しており、7つのプロダクトをリリースし、活動領域を拡大しております。このたび、beatの一翼を担う株式会社アイレップ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO：小坂洋人、以下アイレップ）が、AI技術の活用推進の一環として、AIクリエイティブワークフローシステム「Creative Table PINGPONG（クリエイティブ テーブルピンポン、以下 PINGPONG）※」に対し、最新のマルチモーダルLLM技術（複数の種類のデータを理解するAI技術）を活用した広告クリエイティブのAI分析機能を搭載しましたので、お知らせいたします。従来、AIによる広告クリエイティブ分析は定量評価が主軸でしたが、本機能により大規模な市場調査が必要であった定性評価も、スピーディーに実現可能になります。

## CREATIVE TABLE P!NG-PONG

昨今、広告・マーケティング業界においてはAIを活用した広告クリエイティブの評価機能により、広告効果をスコア化して予測・評価し、広告と商品の購買の影響や、企業や商品のブランドイメージ向上につながるかといった特徴を数値化する分析が実施されるようになりました。

しかし、AIを活用した広告クリエイティブを分析する機能の多くが定量評価であり、「どの広告クリエイティブが成果に寄与するのかの予測」はできても、なぜ生活者にその広告クリエイティブが選ばれるのか、どのような態度変容を与えるのかについての定性評価を得ることは難しく、客観的な視点で定性評価をおこなうためには、別途時間を要する市場調査（アンケート等）が必要な状況にありました。

こうした背景から、このたび培ってきた AI 領域での実績や知見を活かし、AI クリエイティブワークフローシステム「PINGPONG」に対し、マルチモーダル LLM を活用した広告クリエイティブの AI 分析機能を搭載しました。本機能により、広告クリエイティブを客観的な視点で定性評価することが可能になります。これにより、制作の過程だけでなく、市場調査などにおいても広告クリエイティブを従来に比べスピーディーに分析することができるようになり、広告制作においてより精度の高い施策立案・実行が可能になります。

## 「PINGPONG」追加機能の詳細

### ■ マルチモーダル LLM を活用した広告クリエイティブの要素分析

マルチモーダル LLM を含む各種 AI を活用した、広告クリエイティブの要素分析機能。自社の広告クリエイティブのみならず、市場のあらゆる広告クリエイティブの分析が可能。要素を列挙するだけでなく、メインコピーやキービジュアルが何であるのかを特定し、生活者にどのような訴求をし、どのような印象を与えるのか、体系的に分析することができる。これにより、制作した広告クリエイティブを客観的かつスピーディーに分析することが可能となり、広告のクリエイティブ制作における品質・スピードの向上につながる。

### ■ サービスの持つマーケティング課題を踏まえた、広告クリエイティブの制作背景の推定

広告クリエイティブに加え、サービス名や配信媒体・時期などの周辺情報を入力することにより、その広告クリエイティブがどのようなマーケティング課題を解決するために制作されたものか推定できる。推定に必要な最新情報を検索してから分析をはじめめるため、精度の高い分析結果が得られる。これにより、自社の広告クリエイティブが生活者に意図どおりに伝わるか、意図しない伝わり方をしてしまうリスクがないかを客観的に確認することができる。また、市場の広告クリエイティブにおける制作目的を、推定することも可能。

The screenshot displays the PINGPONG AI analysis interface, which is divided into several sections:

- Input Section (AI 要素解析生成):** Contains fields for 'クライアント名' (Client Name: LOGO Mark株式会社), '商品名' (Product Name: LOGO Mark), '提供するサービス' (Service Provided: 人気レストランを厳選したグルメポータルサイト), '想定される配信日時' (Target Distribution Date/Time: 予約CV), and '配信期間' (Distribution Period: 2024/03/04 ~ 2024/03/29). A 'AI デザイン生成' button is at the bottom.
- Analysis Results (要素分析):**
  - 注目要素 (Key Elements):** Lists 'テキスト文字起こし' (Text transcription), '文字の色' (Text color), and 'フォントの種類' (Font type). Example: "LOGO Mark" 人気レストランが "期間限定" (Color: 赤, Font: コシッポ).
  - テキスト内容 (Text Content):**
    - 商品名 (Product Name):** 赤, 赤い, 赤など (Color: 赤, 赤い, 赤など). Note: 中華、洋食、和食、海鮮の料理がそれぞれ少しずつ、盛り込まれている.
    - キャッチコピー (Copy):** 人気者に人気文字 (Targeted to popular people). Note: 「今日はどこで、何を食べよう?」というメインコピーが書かれている.
    - ロゴ (Logo):** 赤色 (Red). Note: 円形の中に「LOGO」という文字が書かれている。「人気レストランが期間限定!」というテキストが下部に配置されている.
- Brand Analysis (ブランド分析):** A horizontal bar chart showing brand attributes: トーン (Style: シンプル, Color: レッド), 親しみやすさ (Approachability: 近しい), 信頼性 (Trustworthiness: フォーマル), スタイル (Style: シンプル), 集合 (Grouping: キュート), 個性 (Personality: 近しい), 清潔感 (Cleanliness: 近しい).
- Brand Profile (ブランドプロフィール):**
  - 企業・ブランドの課題 (Company/Brand Issues):** LOGO Mark株式会社は、人々に自分の好みや実況に合わせてレストラン選びを提供し、それを通じて予約CVを高めたいと考えています。市場の競争が激しい中で、同じようなポータルサイトの差別化を図り、独自のブランド価値を高める必要があります。
  - グルメポータルサイトの競争優位性 (Competitive Advantage of the Gourmet Portal Site):** グルメポータルサイトは競争が激しく、ユーザーには選択肢が多くあります。このような市場では、ユーザー体験、独自のコンテンツ、ユーザーニーズを優先的に満たすことなどを通じて、ブランド差別化を図ることが重要です。競合他社も独自の目的を持ち、独自の特色あるキャンペーンを打ち出しています。

今後は、広告クリエイティブの分析のみならず、広告の配信実績の分析や、プランニング等の領域においても LLM 含む AI の利活用を加速化し、より高度で効果的なマーケティングの実行を可能にするアップデート対応を進めてまいります。

Creative technology lab beat では、今後も AI 技術などのテクノロジー活用により先端的なクリエイティブ領域を革新するサービス開発を追求してまいります。

※「Creative Table PINGPONG（クリエイティブ テーブル ピンポン）」とは  
アイレップが開発を手掛けた、運用型広告のクリエイティブ制作に特化した AI ワークフローシステム。独自の AI 技術を駆使し、「制作工程管理機能」と「AI 制作アシスト機能」により、ワークフローをハイパーオートメーション化し、管理・制作工数の削減とデザイナーのクリエイティブ力の向上を目指す。  
詳細プレスリリース：<https://www.irep.co.jp/news/detail/id=48711/>

#### 【Creative technology lab beat とは】

クリエイティブ領域における AI 技術の産学連携の学術研究からプロダクト開発、クリエイティブ業務のワークスタイル変革までを担う、博報堂 D Y グループ横断型の研究開発組織。産学連携の学術研究 やテキスト認識、動画認識、画像認識、3DCG などの自動生成 AI ツールの開発、クリエイティブ制作業務のワークスタイル研究を進め、世の中を魅了するクリエイティブを生み出し、生活者や社会にとって魅力的なコミュニケーション体験を提供してまいります。

beat Web サイト：<https://ctl-beat.com/>



#### 【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂 D Y ホールディングス グループ広報・IR室 山崎、戸田 TEL:03-6441-9062

e-mail:koho.mail@hakuodo.co.jp